莎草研究 No. 22: 47−55 (2020).
J. Jpn. Cyperol. (22): 47−55 (2020).

【資料】

『日本産スゲ属植物分布図集』（2018）の訂正・追加（I）

すげの会（正木智美[1]・矢野興一[1]・池田 博[2]・星野卓二[1] 編）
（[1]岡山理科大学生物地球学部 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1; [2]東京大学総合研究博物館 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1）

The Japanese Society of Cyperology (edited by Tomomi MASAKI[1], Okihito YANO[1], Hiroshi IKEDA[2] and Takuji HOSHINO[1]): Corrections and additions to the "Distribution maps of *Carex* (Cyperaceae)" (2018) (I)

([1]Faculty of Biosphere-Geosphere Science, Okayama University of Science, Ridai-cho 1-1, Kita-ku, Okayama-shi, Okayama 700-0005, JAPAN; [2]The University Museum, The University of Tokyo, Hongo 7-3-1, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, JAPAN)

カヤツリグサ科スゲ属（*Carex* L.）は日本産被子植物の中で最も種数が多い属として知られ、種・亜種・変種・品種を合わせると 250 以上の分類群が日本に分布している（勝山 2015）。すげの会では、日本産スゲ属植物について、それぞれの分類群の分布を把握することを目的として、2007 年より全国の大学・博物館等に収蔵されている標本情報を収集し、2018 年に標本データとともに分布図を掲載した『日本産スゲ属植物分布図集』（以下、『分布図集』）を刊行した（すげの会 2018）。『分布図集』は、81,330 点にのぼる標本情報をもとに、320 分類群（未記載の 3 分類群を含む）の分布図を示した大作であり、それぞれの分類群が日本のどこに分布しているのかを一見して知ることができる便利なものである。しかしながら、発行後に標本同定の誤りや地名の誤りが判明したり、新たな産地の情報が寄せられたりしている。そこで、そのような訂正・追加情報を適宜会報で報告することにより、より正確な分布情報を発信したいと考えた。今回は 2020 年 4 月までに得られた情報を報告する。

なお、ここに掲載する訂正・追加は、主にすげの会会員からの情報をもとにしているが、責任の所在を明確にするために、編集を担当する 4 名の名前を挙げさせていただいた。

凡例

訂正・追加は、下記の順で示してある。

- 種名: 和名、学名の順に記載した。種名の前の数字は『分布図集』に掲載された番号を示す。
- 提供情報: 訂正あるいは追加などの情報。情報の後に、提供いただいた方の名前と「年-月」を示した。
- 対応: 情報提供を受け、どのように訂正・追加をおこなったかを示した。
- 備考: その他、特筆すべき事項があれば記載した。

I. データの訂正

10. ヒカゲハリスゲ *C. onoei* Franch. et Sav.
訂正情報（1）: 徳島県の標本データ no. 141 はコハリスゲである（織田: 2018-9）。
対応: 標本データ no. 141 を 11. コハリスゲに移動。分布図の徳島県の点を削除。

29. ミノボロスゲ *C. albata* Boott ex Franch. et Sav. var. *albata*
訂正情報（2）: 佐賀県の標本データ no. 70 はツクシミノボロスゲである（岩村: 2020-7）。
対応: 標本データ no. 70 を 30. ツクシミノボロスゲに移動。分布図の佐賀県の点を削除。
備考: 岩村（2020）にて報告。

31. ヒメミコシガヤ *C. laevissima* Nakai
訂正情報（3）: 大阪府の標本データ no. 22 は大阪府ではなく兵庫県である（藤井: 2019-61990）。
対応: 大阪府の標本データ no. 22 を兵庫県のデータとする。
備考: 藤井・織田（2020）にて報告。

41. ホザキマスクサ *C. planata* Franch. et Sav. var. *angustealata* Akiyama
訂正情報（4）: 変種名が "*augustealata*" とされているが、"*angustealata*" のスペルミス（池田: 2020-4）。
対応: 変種名を "*angustealata*" とする。

46. ヒロハイッポンスゲ *C. pseudololiacea* F. Schmidt
訂正情報（5）: 栃木県の標本データ no. 2 はイッポンスゲである（勝山: 2018-11）。
対応: ヒロハイッポンスゲの標本データ no. 2 を 45. イッポンスゲに移動。分布図の栃木県の点を削除。

訂正情報（6）: 学名の種小名が "*psedololiacea*" とあるが、"*pseudololiacea*" のスペルミス（池田: 2020-4）。
対応: 該当の学名を"*pseudololiacea*" に修正。

59. チチジマナキリスゲ *C. chichijimensis* Katsuy.
訂正情報（7）: 学名に "*C. hattoriana* Nakai ex Tuyama" が用いられているが、それはムニンナキリスゲのものである。チチジマナキリスゲには "*C. chichijimensis* Katsuy." を用いるのが適当（池田: 2020-4）。
対応: 学名を"*C. chichijimensis* Katsuy." とする。

62. ナキリスゲ *C. lenta* D. Don ex Spreng.
訂正情報（8）: 岡山県の標本データ nos. 54 & 55 に疑問がある（倉俣: 2018-11）。
対応: 再同定の結果、57. フサナキリスゲと同定された。ナキリスゲの標本データ nos.

54 & 55 をフサナキリスゲに移動。

69. ヤマアゼスゲ *C. heterolepis* Bunge
訂正情報（9）: 地図上の千葉県に点があるが、標本データがない（倉俣: 2018-7）。
対応: 神奈川県の標本データ no. 227 のデータ入力ミス。分布図の千葉県の点を削除。

訂正情報（10）: 高知県の標本データ no. 356 の「高岡市」は、正しくは「高岡郡」である（坂本: 2018-7）。
対応: 「高岡市」を「高岡郡」に訂正。

72. タテヤマスゲ *C. aphyllopus* Kük. var. *aphyllopus*
訂正情報（11）: 富山県の標本データ nos. 164−166 の「西頚城郡」は、新潟県である（倉俣: 2018-7）。
対応: 富山県の標本データ nos. 164−166 を新潟県の標本データに移動。

84−2. ホナガヒメゴウソ *C. phacota* Spreng. var. *phacota*
訂正情報（12）: 分布図の新潟県に点があるが、標本データがない（倉俣: 2018-7）。
対応: 群馬県の標本データ no. 2 のデータ入力ミス。分布図の新潟県の点を削除。

96. タルマイスゲ *C. buxbaumii* Wahlenb.
訂正情報（13）: 長野県の標本データ nos. 20−24 の「甘楽郡」は、正しくは「南佐久郡」である （倉俣・大森・阿部: 2018-7）。
対応: 「甘楽郡」を「南佐久郡」に訂正。

113. ミヤマジュズスゲ *C. dissitiflora* Franch.
訂正情報（14）: 分布図の高知県東部に点があるが、標本データがない （坂本: 2018-7; 前田: 2018-10）。
対応: 標本データ no. 201 のデータ入力ミス。分布図の高知県東部の点を削除。
備考: 高知県におけるミヤマジュズスゲの分布域は中西部のみ。

138. タイワンスゲ *C. formosensis* H. Lév. et Vaniot
訂正情報（15）: 和歌山県の標本データ no. 28 と地図上の点に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 139. ゲンカイモエギスゲに再同定。タイワンスゲの標本データ no. 28 をゲンカイモエギスゲに移動。分布図の和歌山県の点を削除。

139. ゲンカイモエギスゲ *C. genkaiensis* Ohwi
訂正情報（16）: 佐賀県の標本データ no. 30 に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 187. ノゲヌカスゲに再同定。ゲンカイモエギスゲの標本データ no. 30 をノゲヌカスゲに移動。

143−2. マダラシマスゲ *Carex* sp.

訂正情報（17）: 地図内にある番号「143−2」と地図の下の番号「130−2」と番号が異なる（中山: 2018-7）。

対応: 地図の番号が正しく、地図の下の番号を「143−2」に訂正。

備考: マダラシマスゲは正式には発表されていない。ツシマスゲに近縁と考えられるが、雌小穂の柄が短く、苞の葉身が小穂より長く、果胞の脈がやや細いことで異なる （清水 1990, 勝山 2015）。和名は清水（1990）による。

145. トカラカンスゲ *C. conica* Boott var. *scabrocaudata* (T. Koyama) Hatus., comb. nud.

訂正情報（18）: 命名者の "Hatsus." は "Hatus." と表記すべき（池田: 2020-4）。

対応: 命名者を "Hatus." とする。

備考: トカラカンスゲは、Koyama（1957）によりヤクシマスゲ *C. atroviridis* Ohwi の変種として記載されたものであるが、ヒメカンスゲにより近縁と考えられる。初島（1986）はトカラカンスゲをヒメカンスゲの変種に組み替えたが、基礎異名を引用していないため、正式な発表となっていない。

154−1. ナガボスゲ *C. dolichostachya* Hayata

訂正情報（19）: 宮古島の標本データ no. 3 と地図上の点に疑問がある（横田: 2018-7）。

対応: 標本データ no. 3 および分布図の宮古島の点を削除。

備考: 該当標本を再同定した結果、141. タシロスゲの若い個体の可能性が高い。

156−1. ミヤマカンスゲ *C. multiflora* Ohwi var. *multiflora*

訂正情報（20）: 高知県の標本データ no. 762 と分布図の点に疑問がある（前田: 2018-10）。

対応: 158. アオミヤマカンスゲに再同定。ミヤマカンスゲの標本データ no. 762 をアオミヤマカンスゲに移動。分布図の高知県の点を削除。

備考: 鱗片に色がついているのが気になる（正木）。

166−1. ニシノホンモンジスゲ *C. stenostachys* Franch. et Sav. var. *stenostachys*

訂正情報（21）: 佐賀県の標本データ no. 730 はイソアオスゲである（岩村: 2020-7）。

対応: 標本データ no. 730 を 193. イソアオスゲに移動。分布図の佐賀県の点を削除。

備考: 岩村（2020）にて報告。

172. アリマイトスゲ *C. alterniflora* Franch. var. *arimaensis* Ohwi

訂正情報（22）: 宮崎県の標本データ no. 127 と分布図の点に疑問がある（星野・黒木: 2018-9）。

対応: 171. ワタリスゲに再同定。アリマイトスゲの標本データ no. 127 をワタリスゲに移動。分布図の宮崎県の点を削除。

178. ツルナシオオイトスゲ *C. tenuinervis* Ohwi

訂正情報（23）: 分布図の高知県東部に点があるが、標本データがない（坂本: 2018-7）。

対応: 標本データ no. 76 の入力ミス。分布図の高知県東部の点を削除。

188. アオスゲ *C. leucochlora* Bunge
訂正情報（24）: 兵庫県の標本データ no. 615 に疑問がある（黒崎・高橋: 2018-9）。
対応: 172. アリマイトスゲに再同定。アリマイトスゲの標本データ no. 172（p. 443）と同一のため、アオスゲの標本データ no. 615 を削除。

192. ニイタカスゲ *C. aphanandra* Franch. et Sav.
訂正情報（25）: 分布図の高知県東部に点があるが、標本データがない（坂本: 2018-7）。
対応: 標本データ no. 83 のデータ入力ミス。分布図の高知県東部の点を削除。また、標本データ no. 83 に採集者 T. Katsuyama を追加。

訂正情報（26）: 宮崎県の標本データ no. 17 と分布図の点に疑問がある（星野・黒木: 2018-9）。
対応: 191. メアオスゲに再同定。ニイタカスゲの標本データ no. 17 をメアオスゲに移動。ニイタカスゲの分布図について、宮崎県の点を削除。

193. イソアオスゲ *C. meridiana* (Akiyama) Akiyama
訂正情報（27）: 標本データの箇所に 178. イソアオスゲとある（坂本: 2018-7）。
対応: 番号間違い。「178」を「193」に訂正。

194. ヒメアオスゲ *C. discoidea* Boott
訂正情報（28）: 宮古島の標本データ no. 147 と分布図の点に疑問がある（横田: 2018-7）。
対応: 標本データ no. 147「宮古島」を「国頭郡」に訂正。分布図の宮古島の点を削除。

195. ヤクシマイトスゲ *C. perangusta* Ohwi
訂正情報（29）: 分布図の小島嶼（中御神島）の点に疑問がある（横田: 2018-7）。
対応: 標本データ no. 6 のデータ入力ミス。分布図の中御神島の点を削除。

196. オオアオスゲ *C. lonchophora* Ohwi
訂正情報（30）: 富山県の標本データ no. 130 と分布図の点に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 当該標本は未熟な果胞をつけたもので、正確な同定は出来なかったが、明らかにオオアオスゲではないものであった。オオアオスゲの標本データ no. 130 および分布図の富山県の点を削除。

197. ハマアオスゲ *C. fibrillosa* Franch. et Sav.
訂正情報（31）: 兵庫県の標本データ no. 99 に疑問がある（矢内・高橋: 2018-9）。
対応: 188. アオスゲに再同定。アオスゲの標本データ no. 511（p. 495）と同一のため、ハマアオスゲの標本データ no. 99 を削除。

201−2. ツルカミカワスゲ *C. sabynensis* Less. ex Kunth var. *rostrata* (Maxim.) Ohwi
訂正情報（32）: 広島県の標本データ nos. 13, 14, 49, 50 の「安芸太田市」の地名がおかしい（一橋: 2018-11）。
対応: 標本データ nos. 13 & 14「安芸太田市」を「安芸高田市」に、nos. 49 & 50「安芸太田市」を「東広島市」に訂正。

207−1. ヒメスゲ *C. oxyandra* (Franch. et Sav.) Kudô var. *oxyandra*
訂正情報（33）: 分布図の岡山県南部の点に疑問がある（星野: 2018-7）。
対応: 愛媛県の標本データ no. 26 と鳥取県の標本データ no. 27 のデータ入力ミス。分布図の岡山県南部の 2 点を削除。

訂正情報（34）: 命名者の "Kudo" は "Kudô" とすべき（池田: 2020-4）。
対応: 命名者を"Kudô" に修正。

207−2. ナガミヒメスゲ *C. oxyandra* (Franch. et Sav.) Kudô var. *lanceata* (Kük.) Ohwi
訂正情報（35）: 命名者の "Kudo" は "Kudô" とすべき（池田: 2020-4）。
対応: 命名者を"Kudô" に修正。

216−1. イワスゲ *C. stenantha* Franch. et Sav. var. *stenantha*
訂正情報（36）: 秋田県の標本データ no. 73 に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 6. イトキンスゲに再同定。イワスゲの標本データ no. 73 をイトキンスゲに移動。

221. コイワカンスゲ *C. chrysolepis* Franch. et Sav.
訂正情報（37）: 愛媛県の標本データ no. 14「OKAY−20802」の標本産地に疑問がある（前田: 2018-10）。
対応: no. 14 は高知県吾川郡で採集したものであった。愛媛県の標本データ no. 14 を削除し、高知県の標本データに「no. 14（吾川郡, T. Hoshino, T. Masaki, T. Nanami, J. Fujii & O. Tokui, 2006.5.21, OKAY−20801, 20802）」を追加。

225. タイワンカンスゲ *C. longistipes* Hayata
訂正情報（38）: 分布図の小島嶼（中御神島）の点に疑問がある（横田: 2018-7）。
対応: 標本データ no. 5 のデータ入力ミス。分布図の中御神島の点を削除。

235. アイノコシラスゲ *C. pseudoaphanolepis* Ohwi
訂正情報（39）: 佐賀県の標本データ nos. 11 & 12 はシラスゲである（岩村: 2020-7）。
対応: 標本データ nos 11 & 12 を 234. シラスゲに移動。分布図の佐賀県の点を削除。
備考: 岩村（2020）にて報告。

240. ヒメシラスゲ *C. mollicula* Boott

訂正情報（40）: 岡山県の標本データ no. 61 に疑問がある（倉俣: 2018-11）。
対応: 235. アイノコシラスゲに再同定。ヒメシラスゲの標本データ no. 61 をアイノコシラスゲに移動。

244. タカネシバスゲ *C. fuscidula* V. I. Krecz. ex T. V. Egorova
訂正情報（41）: 北海道の標本データ no. 2 と分布図の点に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 217. ショウジョウスゲに再同定。タカネシバスゲの標本データ no. 2 をショウジョウスゲに移動。タカネシバスゲの分布図について、北海道雨竜郡の点（左上の点）を削除。

訂正情報（42）: 福島県の標本データ nos. 3 & 5 と分布図の点に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 200−1. クモマシバスゲに再同定（清水孝浩, 12 Mar. 2002）。タカネシバスゲの標本データ nos. 3 & 5 をクモマシバスゲに移動。タカネシバスゲの分布図について、福島県の点を削除。

247. クジュウツリスゲ *C. kujuzana* Ohwi
訂正情報（43）: 愛知県の標本データ no. 6 に疑問がある（勝山: 2018-11）。
対応: 249−1. タマツリスゲに再同定（OKAY−23343 を再同定）。クジュウツリスゲの標本データ no. 6 をタマツリスゲに移動。クジュウツリスゲの分布図について、愛知県の点を削除。

251. オオタマツリスゲ *C. rouyana* Franch.
訂正情報（44）: 岩手県の標本データ no. 12 に疑問がある（星野・黒木: 2018-9）。
対応: 255−1. コジュズスゲに再同定。オオタマツリスゲの標本データ no. 12 をコジュズスゲに移動。オオタマツリスゲの分布図について、岩手県の南側の点を削除。

訂正情報（45）: 長野県の標本データ no. 1 と分布図の点に疑問がある（大森・星野・黒木: 2018-9）。
対応: 252. ヒロハノオオタマツリスゲに再同定。オオタマツリスゲの標本データ no. 1 をヒロハノオオタマツリスゲに移動。オオタマツリスゲの分布図について、長野県の点を削除。

訂正情報（46）: 大分県の標本データ no. 89 と分布図の点に疑問がある（大森・黒木・勝山: 2019-6）。
対応: 254. エゾツリスゲに再同定。オオタマツリスゲの標本データ no. 89 を削除し、エゾツリスゲに追加。オオタマツリスゲの分布図について、大分県の点を削除。

257. ナガボノコジュズスゲ *C. vaniotii* H. Lév.
訂正情報（47）: 富山県の標本データ no. 337 の「下白河郡」の郡名に疑問がある（石

須: 2018-7)。
対応: 入力ミス。「下新川郡」に訂正。

訂正情報（48): 標本データ番号 no. 337 は入力ミス（正木: 2020-5)。
対応: no. 93 に訂正。

258−1. ジュズスゲ *C. ischnostachya* Steud. var. *ischnostachya*
訂正情報（49): 神奈川県の標本データ no. 843 の採集者に「梅木敏子」が 2 回出てくる（中山: 2018-7)。
対応: 重複している箇所を削除。

訂正情報（50): 静岡県の標本データ no. 859 の採集日「20040606」は、正しくは「20040525」である（中山: 2018-7)。
対応: 採集日を「20040525」に訂正。

258-2 オキナワジュズスゲ *C. ischnostachya* Steud. var. *fastigiata* T. Koyama
訂正情報（51): 標本データの見出しの番号が「240-2」となっているが、「258-2」の間違い（池田: 2020-4)。
対応: 「258-2」に修正。

271. フサスゲ *C. metallica* H. Lév.
訂正情報（52): 地図上の高知県土佐市に点があるが、標本データがない（坂本: 2018-7)。
対応: 標本データ no. 32 のデータ入力ミス。分布図の高知県土佐市の点（右上の点）を削除。

279−1. カラフトカサスゲ *C. rostrata* Stokes var. *rostrata*
訂正情報（53): 岩手県の標本データ nos. 4 & 5 と分布図の点に疑問がある（勝山: 2018-11)。
対応: 278. オオカサスゲに再同定。カラフトカサスゲの標本データ nos. 4 & 5 をオオカサスゲに移動。カラフトカサスゲの分布図について、岩手県の点を削除。

281. シオクグ *C. scabrifolia* Steud.
訂正情報（54): 分布図の茨城県内陸部の点に疑問がある（堀内: 2018-7)。
対応: 千葉県の標本データ no. 281 のデータ入力ミス。シオクグの分布図について、茨城県内陸部の点を削除。

283. ワンドスゲ *C. argyi* H. Lév. et Vaniot
訂正情報（55): 大阪府の標本データ no. 8 に高知県のデータがある（坂本: 2018-7)。
対応: データ重複のため、大阪府の標本データ no. 8 を削除。

訂正情報（56）: 高知県の標本データ no. 8 の「土佐市」は、「高岡郡」ではないか？（坂本: 2018-7）。
対応: 標本データが「土佐市」のため未修正。

II. データの追加

116. ケタガネソウ *C. ciliatomarginata* Nakai
追加情報（1）: 鳥取県の標本が鳥取県立博物館にある（坂田: 2018-11）。
対応：鳥取県の標本データ「no. 181（日野郡, 青砥政義, 1990.5.18, TRPM-PV-0002792）」を追加し、分布図に鳥取県の点を追加。

『分布図集』は、これまでに把握した標本データをもとに分布図がつくられている。したがって、あるスゲ属植物について、地方植物誌などにその分布が記されていても、『分布図集』に反映されていないものもかなりあると思われる。そのような「分布の空白地帯」を埋めるために、証拠となる標本を採集し、しかるべき標本庫に収蔵した上で情報提供をいただければ、『莎草研究』誌上で報告した上で分布図に反映したいと考えている。

提供いただいた情報は、すげの会ホームページにおいて随時更新して公開している。すげの会会員をはじめ関係各位には、これからも引き続き訂正・追加情報を提供いただき、より正確な分布を把握したいと考えている。さらに、データがある程度蓄積された時点で『分布図集』の改訂・増補版を発行することができればと考えている。今後も皆様のご協力のほどをお願いしたい。

謝辞

訂正事項等の情報提供ならびに該当標本を確認・再同定していただいた次の方々にお礼申し上げます（敬称略）。阿部裕紀子、石須秀知、岩村政浩、大森威宏、織田二郎、勝山輝男、倉俣武男、黒木秀一、黒崎史平、坂本 彰、佐々木博昭、高橋 晃、高野祐晃、中山博子、一橋賢三、堀内 洋、藤井俊夫、前田綾子、矢内正弘、横田昌嗣。

参考文献

藤井俊夫・織田二郎 2020. 大阪府にヒメミコシガヤは産しない. 近畿植物同好会々誌 (43): 24 & 25.
初島住彦（編）1986. 改訂 鹿児島県植物目録. 鹿児島県植物同好会, 鹿児島.
岩村政浩 2020. 佐賀県産スゲ属植物目録. 莎草研究 (22): 37−46.
勝山輝男 2015. ネイチャーガイド 日本のスゲ 増補改訂. 391 pp. 文一総合出版, 東京.
Koyama, T. 1957. Taxonomic study of Cyperaceae 6. J. Jap. Bot. **32**: 147−153.
清水孝浩 1990. 九州産スゲ属植物ノート（3）ツシマスゲ. 福岡の植物 (14): 23−33.
すげの会 2018. 正木智美（編）, 日本産スゲ属植物分布図集. 766 pp. すげの会, 岡山.